

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,000	清流の国ぎふ創作オペラ開催事業
補助金	4,217	岐阜県文芸祭開催事業
合計	14,217	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創成総合戦略による位置づけ
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (1) 地域の魅力の創造・伝承・発信
 - ①「清流の国ぎふ」文化・芸術の創造・伝承

(2) 事業主体及びその妥当性

本補助金を受けて(公財)岐阜県教育文化財団が事業を実施する。

(公財)岐阜県教育文化財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	岐阜県民文化祭開催費補助金
補助事業者（団体）	(公財)岐阜県教育文化財団 (理由)当該財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。
補助事業の概要	(目的)文化活動への参加及び創造を促進する (内容)「清流の国ぎふ創作オペラ」の公演、 「岐阜県文芸祭」の開催
補助率・補助単価等	定額・定率・ その他 (内容)県10/10 (理由)本県の文化振興事業を図る重要な事業であり、補助対象経費を全額県負担とする。
補助効果	事業によって県文化の発展・継続が見込める
終期の設定	終期令和5年度 (理由)「『清流の国ぎふ』創成総合戦略」の終期であるため。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

文化芸術活動に参加する県民の増加、新たな文化の創造及び地域の伝統文化等の継承を図ることにより、自律的な文化活動を確立させる。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
① 「清流の国ぎふ創作オペラ」の入場者数	/	/	定員の 70%	定員の 80%	定員の 90%	-%
② 「清流の国ぎふ創作オペラ」の観覧者アンケートによる満足度	/	/	70%	80%	90%	-%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	28,065 千円	21,267 千円	19,398 千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	令和2年2月6日(土)、7日(日) ひだ・みの創作オペラ「紙すきのうた」観客数366名 第29回岐阜県文芸祭 応募点数10,462点 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 2	創作オペラは、各地域の伝承を元にした公演を継続することにより、その土地固有の文化的自覚が醸成され、自律的な活動につながっている。岐阜県文芸祭は、毎回多数の応募があり、県民等の創作活動の発表の場として活用されている。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2:期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1:期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0:ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	創作オペラは他地域での公演にも多くの観客が訪れ、評価も高い。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 1	岐阜県文芸祭においては、平成29年度に飛騨美濃じまん部門を廃止するなど適宜効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・創作オペラ 団体主導の公演への移行 ・文芸祭 若年層の応募が少ない

(次年度の方向性)

<p>創作オペラについては、令和6年度の国民文化祭での公演に向けた団体の自律的な活動を促進すべく、継続して助成を行う。</p> <p>岐阜県文芸祭については、幅広い年齢層からの応募を増やす取り組みを検討しつつ継続して助成を行う。</p>
--